

# 奈良県立医科大学 キャンパス整備イメージ

**奈良県立医科大学は、  
創立から70余年を経た今、第二の建学期を迎え  
最新かつ最高の教育・研究・診療を提供できる  
大学と病院に生まれ変わります**

奈良県立医科大学は、施設の老朽化・狭隘化に対応するため、約1km南西に位置する新キャンパス（旧奈良県農業研究開発センター敷地）に教育・研究部門を全面移転し、移転後の現キャンパスで新A病棟ほか附属病院施設の整備を行うことにしています。

これらキャンパス整備に向け、どのような大学・附属病院を目指すべきなのか、本学の将来像について検討を行ってきましたが、今般、その結果を「奈良県立医科大学の将来像」として取りまとめました。

将来像の実現に取り組む場となる両キャンパスについて、今後、整備内容を検討・具体化することとしていますが、そのたたき台となる現時点でのイメージを作成しましたので紹介します。

平成29年4月

公立大学法人奈良県立医科大学  
理事長・学長 細井 裕司

## 現キャンパスと新キャンパス



出典：国土地理院ウェブサイト ([https://maps.gsi.go.jp/#15/34.502949/135.788269/&base=pale&base\\_grayscale=1&ls=pale&disp=1&lcd=pale&vs=c1j010u0t0z0r0f1&d=vl](https://maps.gsi.go.jp/#15/34.502949/135.788269/&base=pale&base_grayscale=1&ls=pale&disp=1&lcd=pale&vs=c1j010u0t0z0r0f1&d=vl)) をもとに公立大学法人奈良県立医科大学が作成

両キャンパスの位置



北東からの両キャンパス航空写真

## 新キャンパスの整備イメージ

新キャンパスは、歴史の香漂う橿原の地で、奈良への愛着を醸成し、本学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿として、藤原京をモチーフとしたゾーニング、デザインを取り入れることを想定しています。

藤原京の大極殿院とその朝庭（ちょうてい）になぞらえた大学本部棟と前庭を中央に据え、正面玄関となる南側に畝傍山を望むキャンパスイメージになっています。



南東からの俯瞰イメージ



大学本部棟から前庭、正面玄関方向を望む

## 現キャンパスの整備イメージ

教育・研究部門が移転した後の現キャンパスには、外来診療施設等からなる新しいA病棟を整備するとともに、来院者の利便性向上のために隣接して立体駐車場を整備することを想定しています。



南西からの俯瞰イメージ



公立大学法人  
奈良県立医科大学

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL: 0744-22-3051

FAX: 0744-25-7657